

I. 広東省

1 2019年上半期の広東省住民の1人当たりの平均可処分所得は2万元超

●17日、国家統計局広東調査隊の発表によれば、2019年広東省住民の1人当たりの平均可処分所得は20,322元で、名目上の増加率は前年同期比8.6%増、実質増加率は同比6.0%増だった（18日付「南方日報」1面）。

II. 広州市

1 反腐敗にかかる処分

●15日、広州市紀律検査委員会・監察委員会は、王小莉・広州市仲裁委員会党組書記を重大な規律違反の疑いで調査中であると伝えた（16日付「広州日報」6面）。

2 広州市に在住する外国人は8.34万人

●17日、広州市公安局によれば、広州市に在住する外国人は8.34万人で前年比1.6%増だった。国籍別では、上位から韓国、日本、米国、インド、ロシア、カナダ、イエメン、マレーシア、オーストラリア、タイの順に多かった。また、在住している主な区は、天河区は約2万人、越秀区は約1.8万人、白雲区は1.2万人、番禺区は1.1万人、荔湾区と海珠区はそれぞれ0.6万人（18日付「広州日報」6面）。

3 2019年上半期に紀律検査委員会・監察委員会は1,512件を立件

●17日、広州市紀律検査委員会・監察委員会の発表によれば、2019年上半期の立件は1,512件で、そのうち、894人が処分を受けた。処分を受けたのは局長級幹部が34名、県処級幹部が133名、郷科級幹部が199名、一般幹部が63名、農村・企業等その他人員が465名だった（18日付「広州日報」6面）。

III. 深セン

1 春秋航空深セン支店が設立

●18日、春秋航空有限公司深セン支店が正式に発足した。劉慶生・深セン市副市長が発足イベントに参加した。春秋航空が広東・香港・マカオビッグベイエリアに設立した初の支店となる（19日付「深セン特区報」3面）。

IV. 福建省

1 2019 年上半期の福建省の貿易総額は前年同期比 6.8%増

●福州税関の発表によれば、2019 年上半期の福建省の貿易総額は 6,357.4 億元で前年同期比 6.8%増だった。そのうち、輸出総額は 4,059.3 億元で同比 11.9%増、輸入総額は 2,298.1 億元で同比 1.2%減だった（17 日付「福建日報」3 面）。

2 横井裕・駐中華人民共和国日本国特命全権大使が福建省で于偉国・福建省党委書記と唐登傑・福建省長と会見

●17 日、横井裕・駐中華人民共和国日本国特命全権大使一行が福建省で于偉国・福建省党委書記と唐登傑・福建省長と会見した。横井大使は、現在 100 社を超える日系企業が福建省に投資し、双方の交流・往来は非常に密接である。日中で「一帯一路」国際協力モデル区建設を共同で推し進め、双方の更なる協力関係を深めたいと述べた。于書記は、福建省と日本の協力関係は良好であり、将来は希望に満ちあふれている。横井大使が何度もお越しになり、福建省をご覧になることは、双方の実務的な協力関係深化を取り持ち、助けになると述べた（19 日付「福建日報」1 面）。

V. 広西チワン族自治区

1 2019 年上半期の広西チワン族自治区の貿易総額は前年同期比 24.8%増

●南寧税関の発表によれば、2019 年上半期の広西チワン族自治区の貿易総額は 2,269.5 億元で前年同期比 24.8%増だった。そのうち、輸出総額は 1,306.8 億元、輸入総額は 962.7 億元だった（20 日付「広西日報」1 面）。

VI. 海南省

1 海南省の 2019 年上半期の貿易総額は前年同期比 45.6%増

●海口税関の発表によれば、海南省の 2019 年上半期の貿易総額は 455.6 億元で、前年同期比 45.6%増だった。そのうち、輸出総額は 164.5 億元で同比 46.0%増、輸入総額は同比 45.4%増だった（19 日付「海南日報」1 面）。

2 2019 年上半期の海南省の実質 GDP は前年同期比 5.3%増

●海南省統計局の発表によれば、2019 年上半期の名目 GDP は 2,668.96 億元で、実質成長率は前年同期比 5.3%増だった（18 日付「海南日報」3 面）。

（了）